

防コミの歩き方

BOSAI
KOBE
MIRAI

そなエリア東京での写真展と防災講演

東京の有明（お台場の近く）に、「そなエリア東京」という防災体験学習施設が7月にオープンしました。9月の防災週間中に、そなエリア*ボウサイ*ウィークが開催され、神戸市消防局は、阪神・淡路大震災写真展と、震災の講演会を実施しました。

●大規模災害に備える基幹的広域防災拠点

日本の政治・経済の中心であり、人口や様々な都市機能が集中する首都圏では、ひとたび大規模災害が起きると、甚大な被害が発生すると考えられています。こうした大規模災害に備え、首都圏各地（九都県市）の広域防災拠点と連携しながら応急復旧活動を行う拠点として、有明に基幹的広域防災拠点が整備されました。それが、東京臨海広域防災公園です。その公園内に、防災の学習・体験を通じて情報発信をにう防災体験施設「そなエリア東京」が開設されました。

●そなエリア*ボウサイ*ウィーク

そなエリア東京では防災週間中に様々なイベントが開催され、神戸市消防局は、阪神・

淡路大震災写真展と、「震災を乗り越えて」というテーマで3回の講演をおこないました。また、Co.to.hana（コトハナ）の「震災」「未来」に対するメッセージで花開いた3千本のシンサイライノハナも同時に展示されました。

●阪神・淡路大震災写真展と防災講演

エントランスホールで掲示された震災の写真の前では多くの方々が立ち止まり、熱心に見入っておられました。

また、防災講演では、震災での被害の状況や市民と消防の活動について説明し、震災の教訓として生まれた防災福祉コミュニティの取り組みや、小学校と連携した防災教育の支援について紹介しました。

●震災で得た教訓の発信

世界の国々や他の都市の方々にも防災福祉コミュニティの活動を紹介し、それぞれの場所での地域防災力の向上の一助になればと思い、これからも視察の受け入れや、このような講演の場を通じて、震災で得た教訓を発信していきたいと考えております。

（地域防災支援係 秋田稔之）

